

港南区防災ガイド「小学生編」

地震だけではありません！

風水害も追加しました！



港南区では災害に強いまちづくりを推進していくため、平成29年2月に「港南区防災ガイド《小学生編》」を作成し、授業等で活用しています。このたび、近年激甚化する風水害の内容を盛り込む改訂を、地域住民、港南区小学校長会、港南消防署、港南区役所で一緒に行いました。

リーフレットは、A4サイズの8ページ構成のものを5,000部用意しています。また、区内小学校5・6年生を対象に、今年の5月中に学校へ配布し、一般向けには、港南区役所総務課窓口、イベント等で配布を行うほか、ホームページでもご覧いただけます。

【URL】 https://www.city.yokohama.lg.jp/konan/kurashi/bosai_bohan/saigai/default20190807.html

改訂のポイント① 風水害の内容を追加！

去年は横浜市でも、集中豪雨や台風による被害が相次ぎましたが、こうした風水害時に「身を守るためにはどうすればよいか」という部分については、これまで記載がありませんでした。そこで、風水害時に備え、小学生が自ら身を守るために知っておいてもらいたいことを記載し、改訂をしました。



裏面あり

改訂のポイント② 授業での使いやすさや見やすさを重視!

地震の場合と風水害の場合で、項目や色を分けることにより、児童への伝わりやすさ、先生方の教えやすさを考慮しました。プロジェクト会議の中で、「別々のリーフレットにしていると片方をなくしてしまう児童も出てくるかもしれない」といったご意見もありましたので、それらを踏まえ、1冊にまとめたリーフレットにしています。

配布対象はこれまで同様小学5・6年生とし、防災意識の向上を図ります。そのため、イラストを多用するなど小学生にもわかりやすく表記をしました。また、地震と風水害に備えてそれぞれ保護者の方と一緒にみて、考えていただくページを用意しています。



改訂のポイント③ 児童が「考える」ように工夫!

教わるだけではなく、児童が「考える」要素も風水害ページに取り入れました。



「崩れそうながけ」や「倒れそうな木」といった表記ではなく、あえて「がけ」や「木」といった表記にし、なぜそこが危険なのかをイラストを見ながら考えてもらうことで、防災意識の向上を図ります。

また、多様な児童の考えをクラスで共有することにより、さらなる防災意識向上を期待することができます。ぜひ、ご活用ください。

お問合せ先		
港南区総務課長	塩田 洋司	Tel 045-847-8303